

平成29年度1月号 [1月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627

<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

感謝の心があふれる人に

校長 安部正幸

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく願いいたします。今年最初の東風だよりの表題『感謝の心があふれる人に』は、現在の生徒会スローガン『何事にも積極的に行動し、感謝の心があふれる人になろう』からいただきました。本校の生徒会では、このスローガンの達成を目指して、日頃から様々な取り組みを行っています。

さて、感謝の心を考えたときに、日本語には感謝の心が根底にあり、人と人との心を通わせてくれるとても良い言葉がたくさんあることに気づきます。

「ありがとうございます。」「おかげさまで。」

感謝の心を最も良く伝えられる言葉に「ありがとうございます。」「おかげさまで。」があります。特に「ありがとうございます。」は最も美しい日本語とも言われています。この言葉をかけられて、気分を害する人はいません。生徒会では誰かに「ありがとう。」と言ったときの具体的な内容を、掲示物として公表するハートの貯金箱（ありがとうレター）の取り組みを行いました。この取り組みは地区の小学校とも連携して実施し、川口市が主催した『川口の元気 いじめゼロサミット』でもその実践を紙上発表しました。「ありがとうございます。」「おかげさまで。」という言葉は、感謝の心を伝える大切な言葉であると同時に、いじめとは全く無縁の正反対にある言葉の一つだと思います。

「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」

挨拶の根底には、やはり人への感謝の心があると思います。それだからこそ自分の名前を呼ばれたときに返事ができて、挨拶のきちんとできる人は、社会に出ても信頼される人になるのだと思います。『挨拶は家庭の躰の一番目』と言われるくらい小さいときから身につけなければならない大切な行いです。朝起きて家族と「おはよう。」と挨拶ができる子は、どこへ出ても大丈夫だと言われています。学校でも生徒会役員の皆さんが毎朝校門に立ってあいさつ運動を行ってくれています。2学期末には部活動の代表者が小学校に出向いて「あいさつ運動」を行いました。気持ちの良い挨拶を交わすことは、あらゆる面で心を豊かにしてくれます。

日本語にはこの他にも「行ってきます。」「ただ今。」「いただきます。」「ごちそうさま。」「おやすみなさい。」など、人と人との結びつきを大切にしてくれる言葉がたくさんあります。これらの言葉の根底にあるのは、まさに『感謝する心』ではないでしょうか。これらの言葉を使いこなし、東中生全員が感謝の心があふれる人になってくれれば良いなと思っています。今年一年が皆さんにとって良い歳でありますように。